



大物取り上げ成功



小学生も大活躍

**発掘川柳**  
くわ入れの 願いを託し 成果待つ  
薄紙を 剥ぐ発掘に 春の雪  
野尻湖の 土砂跳ね削って 石器掘る  
振り当てた 近所やとなり 皆集合  
恒例の 湖底発掘 砂多し  
発掘ガイド 黒田久作

○人種の知られていないこ  
（小金井市・一般）  
○少しづつ土を掘りおこし  
ていく作業の中から、何万  
年前もの世界が分かってく  
ることはすごい仕事だと思  
いました。  
（埼玉県・学生）  
○とても近くから実際に発  
掘しているところを見るこ  
とができ、とても良い体験  
をしたと思う。この場所だ  
けたくさんナウマンゾウが  
発掘されるのが不思議だと  
思った。  
（埼玉県・学生）



発掘地をのぞむ

**苗名滝探検**  
—信濃路遊歩道を歩く—

スキー場から苗名滝（地震滝）までを歩きます。黒姫に咲いている花や野鳥などをみながら歩きましょう。あなたも自然観察ハイキングに出かけませんか。歩くのはおよそ7kmくらいです。ほとんどはなだらかな林道ですが、滝におりる道は急な坂道ですので、くつは滑りにくいハイキング用の靴がいいでしょう。帰りは苗名滝から黒姫スキー場まで車で戻ります。

**と き** 2014年6月7日(土)  
**と ころ** 黒姫スキー場から苗名滝まで  
**集 合** 午前9時 黒姫スキー場コスモプラザ前  
**解 散** 午後3時ころの予定 黒姫スキー場コスモプラザ前  
**もちもの** リュックサック、ノート、筆記用具、タオル、お弁当、水筒、雨具、持っている人は、双眼鏡やルンベがあると便利です。

**服 装** 汚れてもよいハイキングの服装。  
**費 用** 100円（資料代+保険代）  
**人 数** 20名（定員になり次第しめきります）  
**申し込み** 6月6日(金)までに野尻湖ナウマンゾウ博物館（電話026-258-2090）まで申し込んでください。小学校低学年の方は必ず大人の人と一緒に参加してください。  
雨天の場合は中止します。やるかどうかかわからない場合は、当日朝8時頃に野尻湖ナウマンゾウ博物館にお問い合わせください。



雪の降る中、くわ入れ式

平成26年3月20日から31日にかけて、第20次野尻湖発掘が行われました。全国の野尻湖友の会から192名の会員が集い、発掘が進められました。  
今回の発掘は、「野尻湖のキルサイト（狩り場）」の様子を明らかにしようという目標のもとで行われました。新たな発見へ

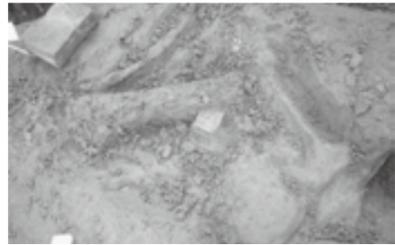
の期待が膨らむ中、発掘が始まりました。発掘が進むにつれ、ナウマンゾウの肋骨やヤベオオツノジカの角の一部など大型哺乳類の化石が続々と出土しました。また石器とみられる石も見つかりました。今回の発掘の成果は2年後の第21次発掘の前までにまとめられ、公表される予定です。  
野尻湖発掘は、地元である野尻区や信濃町と野尻湖発掘調査団がともに進めてきた発掘です。今回も地元のみならずご協力により無事に発掘をおこなうことができました。この場を借りて、厚く御礼言申し上げます。



発掘のようす

○新潟県からお父さんとお母さんに連れられてやってきた、学齢前の男子。博物館に行った後で、ご両親の興味には付きあいきれないと、発掘現場に入ることを渋っていました。湖底に下りても砂で遊んだり、石を拾ってみたりしていましたが、そのときひとつのグリッド（野尻湖の発掘現場では4メートル四方の発掘区画）ではヤベオオツノジカの角のと思われる足跡化石が発掘されていきました。その男の子は水際に近いところで泥の上に足跡をつけ、お母さんは靴が汚れるのを心配して見学どころではありませ

とをいろいろとイメージしながら少しずつ分かっていくということは本当に夢があつていいですね。知的欲求心をくすぐられ、久しぶりにワクワクしました。  
（岐阜市・一般）  
○誰でも発掘できるというのに驚きました。子供の頃から野尻湖発掘のことは聞いていましたが、実際は初めてみました。  
（新潟県・一般）  
○発掘の現場では、皆一生懸命に作業していて、一体感があるなと感じました。ナウマンゾウに親しみを持つことができました。  
（一般）  
○案内ガイドの説明でよく理解できました。発掘参加者が楽しく作業をしていることがわかり良かったです。  
（信濃町・一般）



大きな化石が出現しました



化石の出土位置の記録も大切ですよ

○ガイドボランティア参加は3回目になります。当初は、あれもこれも説明しなければと緊張しながらでした。野尻湖発掘は毎回新しい発見があるので、今は自分でも見たい知りたい気持ちが大きくて、見学の皆さんに説明すると言うよりは、自分の見たいもの、知りたいことを現場の先生方、発掘者の方から見学者と一緒に教えてもらいたいだけです。  
飯綱町 細野利男

○案内ガイドの説明でよく理解できました。発掘参加者が楽しく作業をしていることがわかり良かったです。  
（信濃町・一般）  
○とても近くから実際に発掘しているところを見ること

**博物館のページ**

野尻湖  
ナウマンゾウ博物館

**野尻湖のキルサイトに迫る  
第20次野尻湖発掘が行われました**

3月20日～31日

**発掘ガイドに参加して**

○新潟県からお父さんとお母さんに連れられてやってきた、学齢前の男子。博物館に行った後で、ご両親の興味には付きあいきれないと、発掘現場に入ることを渋っていました。湖底に下りても砂で遊んだり、石を拾ってみたりしていましたが、そのときひとつのグリッド（野尻湖の発掘現場では4メートル四方の発掘区画）ではヤベオオツノジカの角のと思われる足跡化石が発掘されていきました。その男の子は水際に近いところで泥の上に足跡をつけ、お母さんは靴が汚れるのを心配して見学どころではありませ



足あとの化石が見つかりました

○案内ガイドボランティア参加は3回目になります。当初は、あれもこれも説明しなければと緊張しながらでした。野尻湖発掘は毎回新しい発見があるので、今は自分でも見たい知りたい気持ちが大きくて、見学の皆さんに説明すると言うよりは、自分の見たいもの、知りたいことを現場の先生方、発掘者の方から見学者と一緒に教えてもらいたいだけです。  
飯綱町 細野利男

○案内ガイドの説明でよく理解できました。発掘参加者が楽しく作業をしていることがわかり良かったです。  
（信濃町・一般）  
○とても近くから実際に発掘しているところを見ること